

平成 21 年度厚生労働科学研究費労働安全総合研究事業
「労働者のメンタルヘルス不調の第一次予防の浸透手法に関する調査研究」
講演会のご案内

演者 : Dr Stavroula Leka, CPsychol FRSPH
Associate Professor in Occupational Health Psychology,
Institute of Work, Health & Organisations,
University of Nottingham, UK
(英国ノッティンガム大学仕事・健康・組織研究所
産業保健心理学分野・准教授)



演題 : European Framework for Psychosocial Risk Management: PRIMA-EF
(職場における社会心理的リスクマネジメントの欧州枠組み :
PRIMA-EF プロジェクト)

日時 : 2010 年 1 月 16 日 (土) 14:00~16:30

14:00~15:30 Leka 准教授講演会 (英語のみ)

15:30~16:30 職場のメンタルヘルスの日本型枠組みについての意見交換 (日本語)

会場 : 東京医科大学 第 1 校舎 3 階第 2 講堂

〒160-8402 東京都新宿区新宿 6-1-1

TEL:03-3351-6141(代表) 当日のお問い合わせは 03-5269-9785

交通 : JR 新宿東口より徒歩 15 分、都営新宿線「新宿三丁目」駅より徒歩 10 分、東京メトロ丸の内線「新宿御苑前」駅より徒歩 10 分。別紙地図をご覧ください。西新宿の東京医大病院ではありませんのでご注意ください。

その他 : 参加費無料、事前登録不要。どなたでもご自由に参加いただけます。

講演会の趣旨

Leka 氏は、2007-2008 年に欧州機構の研究費助成を受けて、「職場における社会心理的要因リスクマネジメント：欧州枠組み」Psychosocial Risk Management - European Framework (PRIMA-EF) プロジェクトの主任研究者を務め、欧州の産業保健研究機関のネットワークの下、2008 年に職場のストレス対策に関する欧州枠組み (<http://prima-ef.org/>) を公表しました。本枠組みは、WHO, ILO とも共同して実施されており、職業性ストレス対策の国際標準の 1 つとして注目されています。わが国でも労働者のメンタルヘルス不調は増加の一途をたどっており、その第一次予防がますます重要になっています。この講演会では、Leka 博士が主任研究者となった PRIMA-EF プロジェクトの研究 방법論とその成果を学び、国際的な枠組みと調和をはかりながら、わが国における労働者のメンタルヘルス不調の第一次予防の枠組みを議論します。ご関心のある方のご参加を歓迎いたします。

なお、本講演会は平成 21 年度厚生労働科学研究費労働安全総合研究事業「労働者のメンタルヘルス不調の第一次予防の浸透手法に関する調査研究」および労働安全衛生総合研究推進事業外国人研究者招へい事業により実施されます。

お問い合わせ

東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野 (担当 : 井上、川上)

TEL 03-5841-3364 (秘書)

FAX 03-5841-3392

メールアドレス:kawakami@m.u-tokyo.ac.jp

東京医科大学案内図

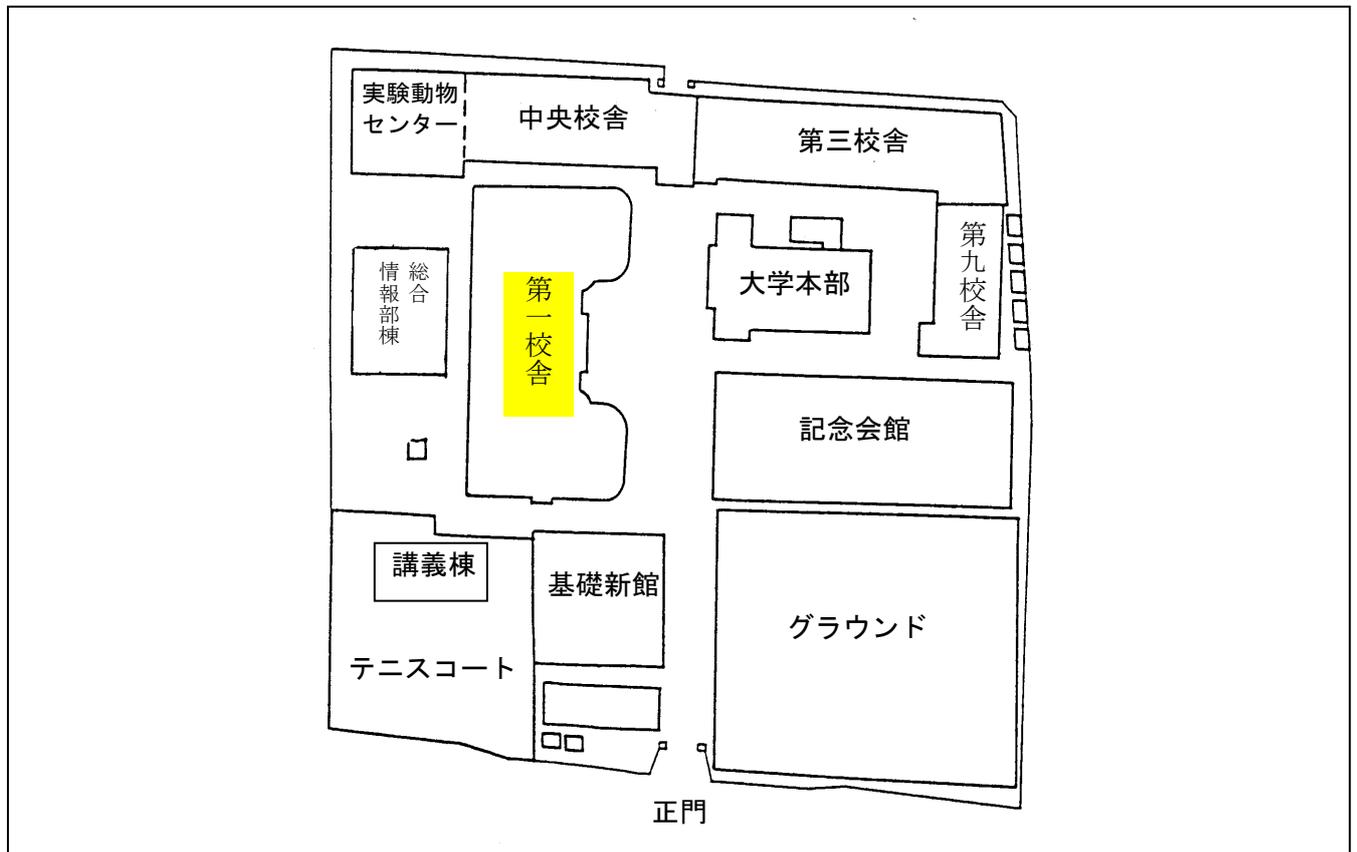
※ 病院と大学は別の場所にありますのでお間違えのないようにお越し下さい。

東京医科大学
公衆衛生学講座
第1校舎3階
TEL: 03-3351-6141 (237)
03-5269-9785 (夜間直通)



- Ⓐ JR 新宿東口より徒歩 15 分
- Ⓑ 都営新宿線「新宿三丁目」駅より徒歩 10 分
- Ⓒ 東京メトロ丸の内線「新宿御苑前」駅より徒歩 10 分

Ⓒ 東京メトロ丸の内線
「新宿御苑前」駅
出入り口



東京医科大学

〒160-8402 東京都新宿区新宿6-1-1

TEL: 03-3351-6141 (代表)